

乳幼児の生活環境と音楽に関する研究 (第1報)

曾我部 司
Tsukasa Sogabe

土谷 由美子
Yumiko Tsutitani

研究目的

乳幼児が日頃口ずさんでいる歌（音楽）をよく耳にするが、果して生活環境と音楽はどのような関係にあるのか、昔と違い現代における高度経済成長に伴い、TV、オーディオ、ピアノ等の普及、また、宅地造成により子供の遊び場の減少、兄弟も少なく、塾通い等で遊び時間も著しく減少したと思う。こうした生活環境の中において、乳幼児の音楽はどのような関係にあるのか、実態調査の結果、研究報告したいと思う。

研究方法

1 調査対象

中国短期大学周辺の乳幼児590名（内訳表1のとおり）※若干広島、東京を含む

2 調査時期

昭和59年7月～9月

3 調査方法

保護者に対するアンケート調査による。

4 配布及び回収

配布数830枚

回収数622枚

有効回答数590枚（有効回答率71.1%）

5 調査項目

生活環境（①出生順位 ②通園状況 ③好きな遊び ④遊び相手 ⑤TV視聴時間）

音楽に関する項目（①音楽の好きさらい ②好きな歌 ③おけいごと）

結果及び考察

表1. 調査人数内訳

調査人数内訳は男児282名、女児308名、計590名である（表1）

年齢 性	0～1才	2才	3才	4才	5才	6才	計
男	25	37	27	60	87	46	282
女	40	34	47	48	87	52	308
計	65	71	74	108	174	98	590

1 生活環境

①出生順位

表2のとおりで、全体では第1子が47.6%、第2子が26.1%、第3子以上が26.3%である。出生順位には年齢差はあるが、性差はない。年齢別にみると図1のとおりで、今回の調査対象児の出生順位は出生年次によって統計的に有意な差があり、6才児の第1子と第2子はおおよそ43%前後でほぼ同率であり、0~1才児の第1子は67.7%でおおよそ1.5倍多く、第2子は21.5%でおおよそ $\frac{1}{2}$ と少ない。

表2. 出生順位

出生順位	全体	年 令 別						性 別	
		0~1才	2才	3才	4才	5才	6才	男	女
第1子	47.6	67.7	46.5	47.3	50.0	51.7	42.9	52.5	48.7
第2子	26.1	21.5	29.6	33.8	38.0	37.9	43.9	34.0	37.0
第3子以上	26.3	10.8	23.9	18.9	12.0	13.2	13.2	13.5	14.3
計	(590人) 100	(65人) 100	(71人) 100	(74人) 100	(108人) 100	(174人) 100	(98人) 100	(282人) 100	(308人) 100
X ² 検定	-	P < 0.05						有意差なし	

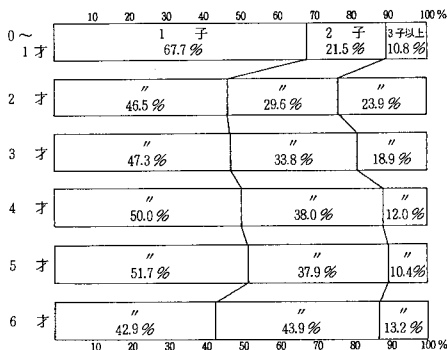


図1. 出生順位 (年齢別)

②通園状況

表3のとおりで、全体では幼稚園児が47.6%、保育園児が26.1%、家庭児が26.3%である。通園状況には年齢差はあるが、性差はない。これを年齢別にみると図2のとおりで、3才児では幼稚園児が9.5%と低率で、家庭にいる子供が47.3%で約50%を占めているが、加齢とともに幼稚園通園児の率が上昇し、6才児ではおおよそ80%を示し、家庭にいる子供は2%と大幅に減少している。

表3. 通園状況

通園状況	全体	年 令 別						性 別	
		0~1才	2才	3才	4才	5才	6才	男	女
幼稚園	47.6	0	0	9.5	58.3	77.0	78.6	48.6	46.8
保育所	26.1	18.5	32.4	43.2	27.8	21.9	19.4	28.4	24.0
家庭	26.3	81.5	67.6	47.3	13.9	1.1	2.0	23.0	29.2
計	(590人) 100	(65人) 100	(71人) 100	(74人) 100	(108人) 100	(174人) 100	(98人) 100	(282人) 100	(308人) 100
X ² 検定	-	P < 0.001						有意差なし	

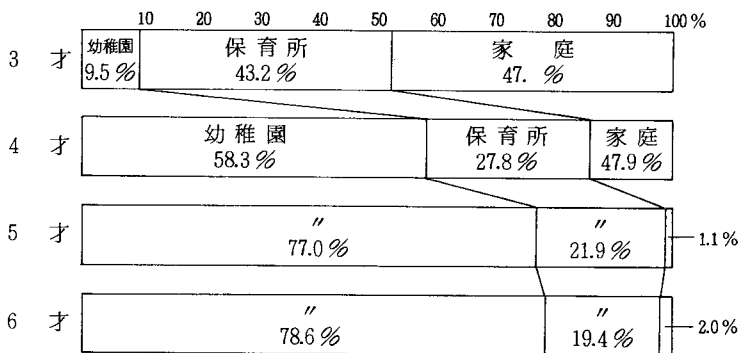


図2. 通園状況 (年齢別)

③好きな遊び

表4のとおりで、全体では1位が体全体をつかう遊び、次いで遊具をつかう遊び、ひとり遊び、玩具をつかう遊び、大勢での遊びの順である。好きな遊びには年令、性、通園状況による差がみられるが出生順位に差はない。

表4. 好きな遊び

区分	全体	年令別						性別		出生順位別			通園状況別			
		0~1才	2才	3才	4才	5才	6才	男	女	1子	2子	3子以上	幼稚園	保育所	家庭	
好きな遊び																
からだ全体をつかう遊び	19.6	22.4	19.2	15.9	18.4	19.5	22.9	21.7	17.7	18.8	20.6	19.8	20.3	18.2	19.7	
玩具をつかう遊び	15.0	20.9	13.0	17.4	13.0	14.7	14.3	11.3	18.4	15.7	15.1	12.2	14.8	12.9	17.7	
遊具をつかう遊び	19.4	14.2	29.0	22.2	20.4	17.4	15.4	20.9	18.0	18.5	19.2	23.4	18.0	21.1	20.5	
ものをつくる遊び	17.3	8.2	15.0	19.8	22.1	17.8	15.0	22.2	12.7	18.7	15.8	15.8	17.7	18.7	14.8	
ひとり遊び	16.1	29.9	16.6	15.9	11.0	15.5	15.4	12.9	19.0	15.7	16.3	16.7	13.4	17.2	20.3	
大勢での遊び	12.7	4.5	7.3	8.7	15.1	15.1	16.9	11.2	14.1	12.6	13.0	12.2	15.9	12.0	7.0	
計	(1,582人) 100	(134人) 100	(193人) 100	(207人) 100	(299人) 100	(483人) 100	(266人) 100	(762人) 100	(820人) 100	(791人) 100	(569人) 100	(222人) 100	(779人) 100	(418人) 100	(386人) 100	
χ^2 検定	—	P < 0.001						P < 0.001		有意差なし			P < 0.001			

年令別にみると図3のとおりで、体全体をつかう遊びでは、0~1才の22.4%から3才の15.9%まで減少し、3才からまた加令とともに多くなっている。遊具をつかう遊びにおいては2才を最高に加令とともに減少している。

ひとり遊びでは0~1才がおおよそ30%を占めている。これは乳児のため十分な動きが出来ないためであろう。逆に大勢での遊びは加令とともに多くなっている。性別にみると図4のとおりで、体全体をつかう。遊具をつかう。物をつくる遊びにおいては男児に多くみられるが、女児においては玩具をつかう、ひとりで、大勢での遊びが多くみられる。通園状況別では図5のとおりで、幼稚園通園児においては体全体をつかう遊び、保育園通園児においては遊具をつかう遊びが最も多く、家庭児のひとり遊びは20.3%で幼稚園通園児のおおよそ1.5倍と多い。

- 注1) 体全体をつかって遊ぶ
(例 かけっこ、なわとび、ボール遊び)
- 2) 玩具をつかって遊ぶ
(例 ゲーム、人形遊び、ままごと)
- 3) 遊具をつかって遊ぶ
(例 三輪車、ブランコ、すべり台)
- 4) 物をつかって遊ぶ
(例 ねんど、つみき、ブロック)
- 5) ひとりで遊ぶ
(例 絵本、テレビ、お絵かき)
- 6) 大勢で遊ぶ
(例 おにごっこ、ままごと、かくれんぼ)

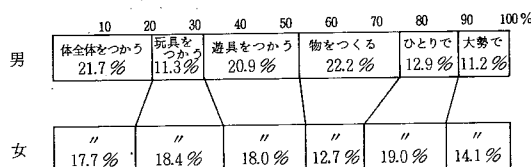
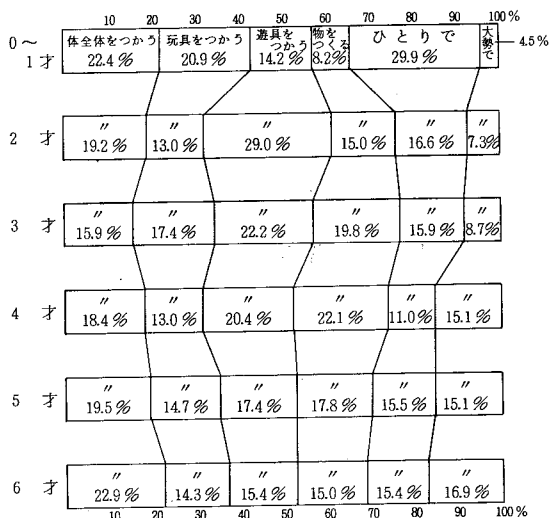


図3. 好きな遊び（年令別）

図4. 好きな遊び（性別）

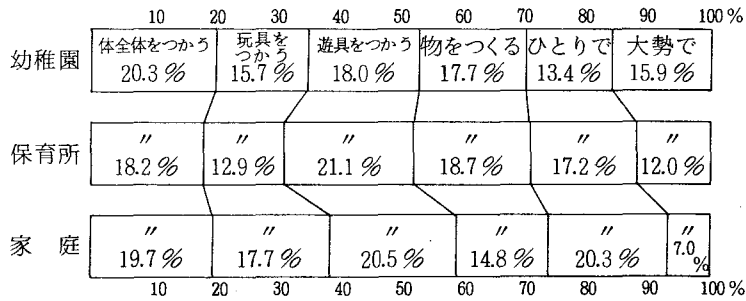


図 5. 好きな遊び (通園状況別)

④遊び相手

遊び相手の全体平均は表5により、1位が同年令の子供、次いで兄弟、父母、年上の子供、ひとりで、祖父母、年下の子供の順である。

表 5. 遊び相手

区分	全体	年令別						性別		出生順位別			通園状況別		
		0~1才	2才	3才	4才	5才	6才	男	女	1子	2子	3子以上	幼稚園	保育所	家庭
同年令の子ども	29.7	7.0	16.4	25.2	32.8	36.2	40.4	31.8	27.7	26.7	33.2	23.6	37.8	28.4	15.5
年上の子供	10.1	6.0	9.0	12.2	13.3	8.4	11.1	10.2	10.0	9.2	12.8	6.3	11.3	10.3	7.6
年下の子供	3.9	0	0.8	1.5	3.1	7.4	4.7	2.9	4.8	5.8	1.8	2.8	6.6	2.3	0.4
父	12.8	44.0	27.9	19.8	5.6	3.9	2.9	10.8	14.7	17.5	6.5	13.2	4.4	11.9	29.9
母	6.3	19.0	10.7	9.2	3.6	3.6	1.8	5.1	7.4	9.0	3.9	3.5	2.0	7.3	13.6
兄弟(姉妹)	29.4	13.0	27.0	24.4	34.4	32.0	33.9	31.6	27.3	20.7	35.6	43.1	32.4	31.8	21.2
ひとりで	7.8	11.0	8.2	7.6	7.2	8.4	5.3	7.6	8.0	9.2	6.0	7.6	5.6	8.0	11.7
計	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)	0.028(100)
X ² 検定	-	P < 0.001						P < 0.10		P < 0.001			P < 0.001		

遊び相手には年令, 性, 出生順位, 通園状況のいずれにおいても有意差がある。年令別では図6のとおりで同年令と遊ぶ子は加令とともに上昇し、逆に父母と遊ぶ子は加令とともに減少している。祖父母においても同じである。また兄弟と遊ぶ子は2才児から急に増え、6才児が最も多い。性別では図7のとおりで、同年令, 年上, 兄弟と遊ぶ子が男児に多く、年下, 父母, 祖父母, ひとり遊びは女児に多くみられる。

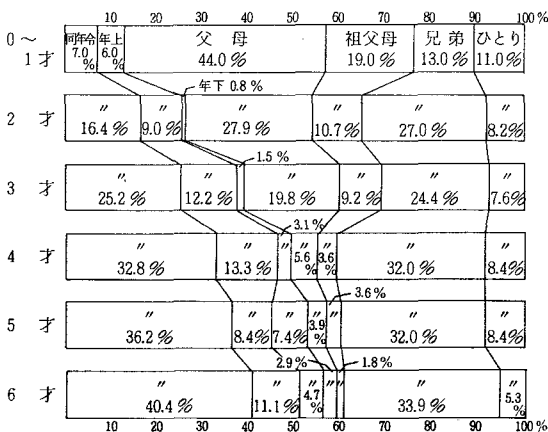


図 6. 遊び相手 (年令別)

図8における出生順位別では1子, 2子, 3子とも同年令, 兄弟との遊びが多く、兄弟と遊ぶ3子以上の子供は1子の20.7%に比べ2倍以上の上昇がみられる。1子ほど父母, 祖父母との遊びが多く、やはり2子, 3子となるほど兄弟と遊ぶ子が多いことがわかる。つぎに通園状況別では図9にみられるように、同年令の子供と遊ぶ子が幼稚園通園児においては37.8%、次いで保育所, 家庭児と急減少をみせている。兄弟と遊ぶ子においても同じである。逆に父母, 祖父母と遊ぶ子は大きく上昇している。

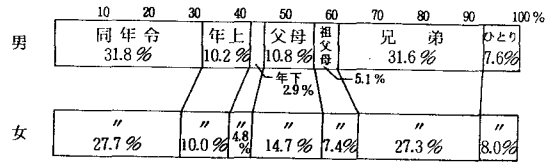


図 7. 遊び相手 (性別)

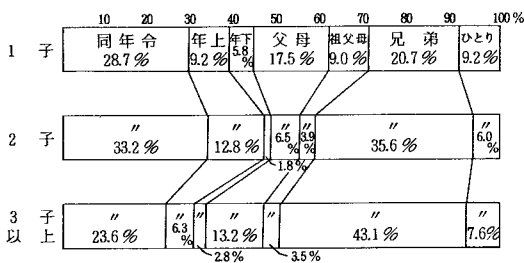


図 8. 遊び相手（出生順位別）

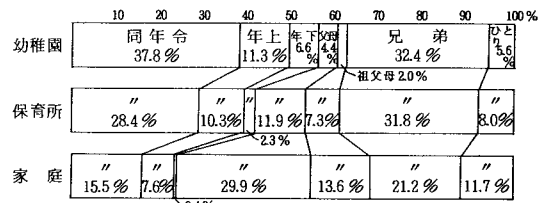


図 9. 遊び相手（通園状況別）

⑤ TV視聴時間

表6により全体では1時間以上2時間未満がもっとも多く、次いで2時間以上～3時間未満，1時間未満，ほとんど見ない，3時間以上の順である。年齢，通園状況による有意差はあるが，性，出生順位による差はない。これを年齢別にみると図10のとおりで，子供のTV視聴時間の平均はおよそ2時間で，0～1才児のほとんど見ないが61.5%と圧倒的に多く，やはり睡眠時間の長いせいであろう。またほとんど見ないが図11により保育所通園児に多くみられ，これは保育所は在園時間が長く，共働きによって夕方のお迎えも遅いためであろう。

表 6. TV視聴時間

区分	全体	年 令 別						性 別		出 生 順 位 別			通 園 状 況 別		
		0～1才	2才	3才	4才	5才	6才	男	女	1子	2子	3子以上	幼稚園	保育所	家庭
1時間未満	10.8	9.2	22.5	6.8	10.2	6.9	14.3	11.0	10.7	10.4	10.0	14.6	10.0	8.4	10.8
1時間以上 2時間未満	43.2	20.0	35.2	47.3	46.3	50.6	44.9	42.9	43.5	43.6	45.2	36.6	50.2	42.9	43.2
2時間以上 3時間未満	31.4	6.2	26.8	35.1	33.3	35.6	38.8	33.7	29.2	29.5	33.8	31.7	34.5	33.8	31.4
3時間以上	4.9	3.1	5.6	4.1	8.3	5.7	1.0	4.3	5.5	6.0	3.3	4.9	4.3	1.3	4.9
ほとんど見ない	9.7	61.5	9.9	6.8	1.9	1.1	1.0	8.2	11.0	10.4	7.6	12.7	1.1	13.6	9.7
計	(590人) 100	(65人) 100	(71人) 100	(74人) 100	(108人) 100	(174人) 100	(98人) 100	(282人) 100	(308人) 100	(298人) 100	(210人) 100	(82人) 100	(284人) 100	(154人) 100	(155人) 100
χ^2 検定	—	P < 0.001						有意差なし		有意差なし			P < 0.001		

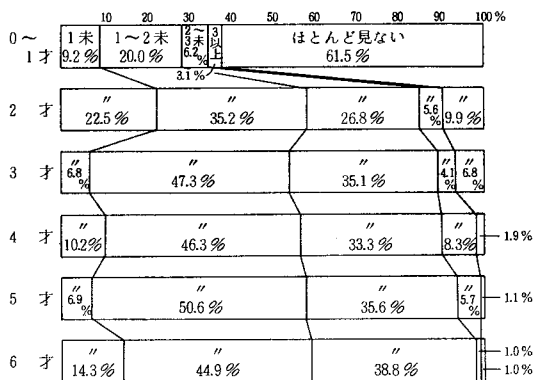


図 10. TV視聴時間（年齢別）

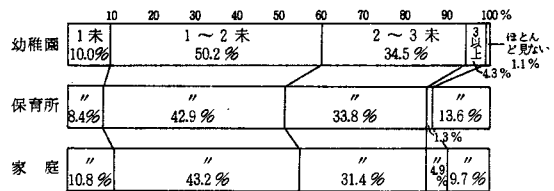


図 11. TV視聴時間（通園状況別）

2 音楽に関する項目

表 7. 音楽の好ききらい

①音楽の好ききらい
全体では音楽の好きな子が表7のとおりで66.8%でおよそ $\frac{2}{3}$, ふつうが32.7%で $\frac{1}{3}$, きらいはわずか0.5%である。

区分 好き きらい	全体	年 令 別						性 別		出生順位別			通園状況別		
		0~1才	2才	3才	4才	5才	6才	男	女	1子	2子	3子以上	幼稚園	保育所	家庭
好	66.8	56.9	80.3	74.3	69.4	67.8	53.1	53.9	78.6	68.5	64.8	65.9	62.6	73.4	67.7
き	0.5	0	0	0	0.9	0.6	1.0	1.1	0	0.7	0	1.2	0.4	0.6	0.6
ふ	32.7	43.1	19.7	25.7	29.7	31.6	45.9	45.0	21.4	30.8	35.2	32.9	37.0	26.0	31.7
計	(590人) 100	(65人) 100	(71人) 100	(74人) 100	(108人) 100	(174人) 100	(98人) 100	(282人) 100	(308人) 100	(298人) 100	(210人) 100	(82人) 100	(281人) 100	(154人) 100	(155人) 100
X ² 検 定	—	P < 0.0 5						P < 0.0 0 1		有意差なし			有意差なし		

年齢, 性別においては有意差がみられるが, 出生順位通園状況の差はない。年齢別では図12のとおりで, 音楽の好きな子が圧倒的に多く, ふつうが2才児より加齢とともに上昇している。きらいは4, 5, 6才児にみられる。やはり年齢が高くなるにつれ, 声を出して歌うことに少しはざかしさがあるためであろう。性別においては図13のとおりで, 音楽の好きな男児が53.9%に比べ, 女児が78.6%と約1.5倍である。女児に音楽のきらいな子はいなく男児に1.1%いる。

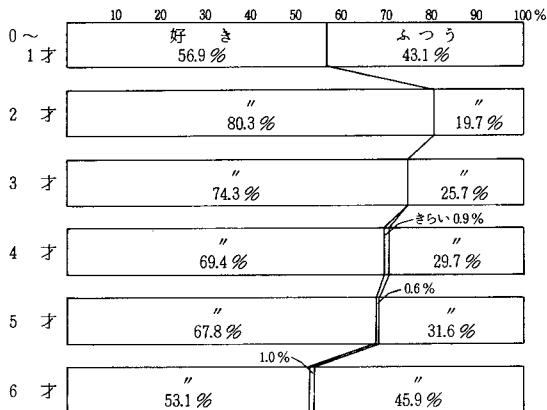


図 12. 音楽の好ききらい (年齢別)

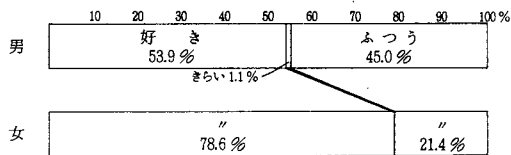


図 13. 音楽の好ききらい (性別)

②好きな歌

表8のとおりで, 全体では1位が童謡, 次いでアニメの主題歌, コマーシャルソング, 歌謡曲, フォークソング, その他の順である。年齢, 性, 通園状況による有意差はあるが, 出生順位による差はない。

表 8. 好きな歌

区分 好きな歌	全体	年 令 別						性 別		出生順位別			通園状況別		
		0~1才	2才	3才	4才	5才	6才	男	女	1子	2子	3子以上	幼稚園	保育所	家庭
童 謡	42.1	42.0	49.4	45.7	43.3	34.3	40.6	35.9	44.6	42.2	39.0	43.3	40.3	39.9	44.4
ア ニ メ の 主 題 歌	37.0	21.1	23.6	33.7	39.4	46.1	39.6	41.7	34.0	34.7	40.3	37.5	42.2	38.3	26.0
コ マ ー シ ャ ル ソ ン グ	10.5	28.1	13.5	9.8	5.5	8.8	8.3	12.7	9.1	11.3	10.4	8.0	7.5	9.6	19.2
歌 謡 曲	10.1	7.0	13.5	10.9	10.2	10.8	6.3	9.3	10.6	11.3	8.2	10.2	8.1	11.7	11.8
フ ォ ー ク ソ ン グ	0.8	0	0	0	0.8	0	4.2	0.4	1.0	0.3	1.7	0	1.6	0	0
そ の 他	0.5	1.8	0	0	0.8	0	1.0	0	0.7	0.3	0.4	7.0	0.3	0.4	0.6
計	(665人) 100	(57人) 100	(89人) 100	(92人) 100	(127人) 100	(204人) 100	(96人) 100	(259人) 100	(406人) 100	(346人) 100	(231人) 100	(88人) 100	(308人) 100	(188人) 100	(169人) 100
X ² 検 定	—	P < 0.0 0 1						P < 0.0 5		有意差なし			P < 0.0 1		

これを年齢別でみると図14のとおりで全体に童謡、アニメの主題歌の好きな子が多く、童謡では2才児、アニメの主題歌では5才児に最も多い。0～1才児では商業的ソングが28.1%と童謡に次いで高い率を示している。これは商業的ソングは短かく、簡単で、テレビを通じ毎日何度も耳にするため口ずさみやすいのであろう。性別は図15による。図16においての通園状況別では、アニメの主題歌が幼稚園通園児、保育所通園児、家庭児と減少しているが、逆に商業的ソング、歌謡曲は上昇をみせている。

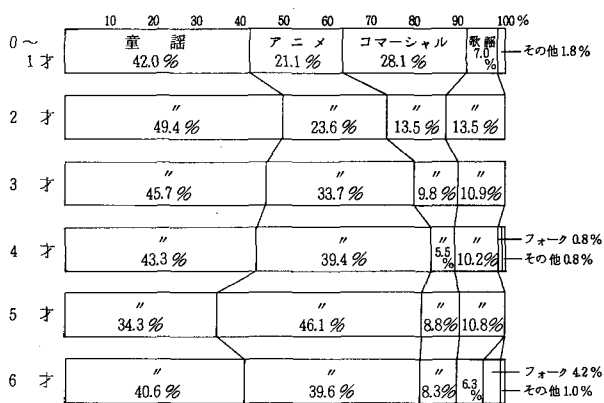


図14. 好きな歌（年齢別）

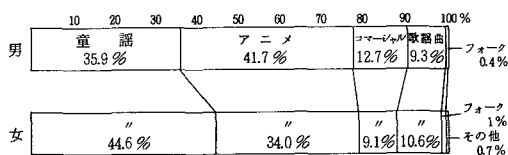


図15. 好きな歌（性別）

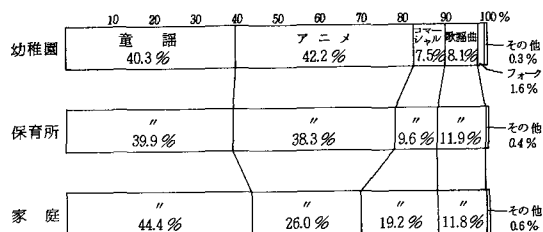


図16. 好きな歌（通園状況別）

③おけいごと

表9より全体では1位がピアノ、次いで音楽教室、電子オルガン、バイオリン、その他の順である。年齢、通園状況による有意差はあるが、性、出生順位による差はない。

表9. おけいごと

区分	全体	年齢別				性別		出生順位別			通園状況別		
		3才	4才	5才	6才	男	女	1子	2子	3子以上	幼稚園	保育所	家庭
ピアノ	55.9	30.0	55.2	56.9	60.4	52.8	56.9	55.4	50.9	78.6	57.0	58.1	28.6
電子オルガン	6.2	20.0	0	6.9	6.3	5.6	6.4	2.7	10.5	7.1	4.7	9.7	14.3
バイオリン	4.1	10.0	3.4	3.4	4.2	8.3	2.8	2.7	7.0	0	3.7	0	28.6
音楽教室	31.7	10.0	41.4	32.8	23.2	27.8	33.0	37.8	28.1	14.3	33.6	28.1	28.6
その他	2.1	30.0	0	0	0	5.6	0.9	1.4	3.5	0	0.9	3.5	0
計	(145人)	(10人)	(28人)	(88人)	(48人)	(36人)	(109人)	(74人)	(57人)	(14人)	(107人)	(31人)	(7人)
χ ² 検定	—	P < 0.001				有意差なし		有意差なし			P < 0.05		

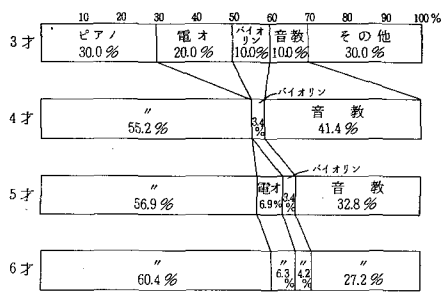


図17. おけいごと（年齢別）

図17によって年齢別にみると、ピアノを習っている子供は加齢とともに上昇し、全体に高率を示している。音楽教室に通っている子供は4才児に多く41.4%である。また図18による通園状況別では、幼稚園通園児のピアノを習っている子供が57.0%に比べ、家庭児においては28.6%で、およそ $\frac{1}{2}$ と少な

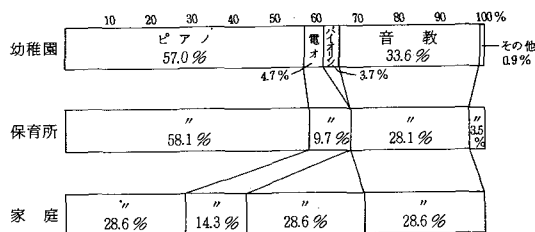


図18. おけいごと（通園状況別）

い。家庭児ではバイオリンを習っている子供が28.6%で、音楽教室に通っている子供と同率である。

④好きな歌と遊びの関係

表10によって好きな歌とTV視聴時間のあいだには有意差があるが、好きな歌と好きな遊び、遊び相手間には差がない。TV視聴時間との関係を図19でみると、TV視聴時間の少ない子供ほど童謡が好きである。

逆にTV視聴時間が長くなるにつれて童謡が減少していることがわかる。コマーシャルソングにおいては、TVをほとんど見ない子供が25.5%で意外に多い。また歌謡曲においてはTVを長時間(3時間以上)見る子供が17.1%で最も多い。やはりTVの歌謡番組の多いためであろう。

表 10. 好きな歌と遊びの関係

区分	好きな遊び						遊び相手						TV視聴時間					
	からだ全体を動かす遊び	玩具をつかう遊び	遊具をつかう遊び	ものをつくる遊び	ひとり遊び	大勢での遊び	同年令の子ども	年上の子ども	年下の子ども	父 母	祖 父 母	兄弟(姉妹)	ひとり	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上	ほとんど見ない
童謡	40.8	43.6	42.5	41.1	42.6	37.7	38.1	35.3	46.3	46.2	40.8	42.1	42.7	51.6	42.3	35.2	31.7	52.9
アニメの主題歌	36.2	35.8	37.8	40.1	39.8	40.9	41.7	36.1	42.6	26.9	27.6	40.4	35.4	27.4	38.5	43.2	39.0	13.7
コマーシャルソング	10.6	8.9	9.4	9.8	7.8	8.1	10.0	14.3	7.4	13.1	14.5	8.2	8.5	11.3	9.3	8.5	9.8	25.5
歌謡曲	11.5	9.6	10.0	8.0	8.2	12.1	8.6	11.8	3.7	13.1	17.1	8.8	9.8	9.7	8.7	12.1	17.1	5.9
フォークソング	0.6	1.4	0	1.0	1.2	0.8	1.1	1.7	0	0	0	0.6	2.4	0	1.3	0.5	0	0
その他	0.3	0.7	0.3	0	0.4	0.4	0.6	0.8	0	0.7	0	0	1.2	0	0	0.5	2.4	2.0
計	(348人) 100	(282人) 100	(339人) 100	(287人) 100	(244人) 100	(247人) 100	(360人) 100	(119人) 100	(54人) 100	(145人) 100	(76人) 100	(342人) 100	(82人) 100	(62人) 100	(312人) 100	(199人) 100	(41人) 100	(51人) 100
X ² 検定	有意差なし						有意差なし						P < 0.01					

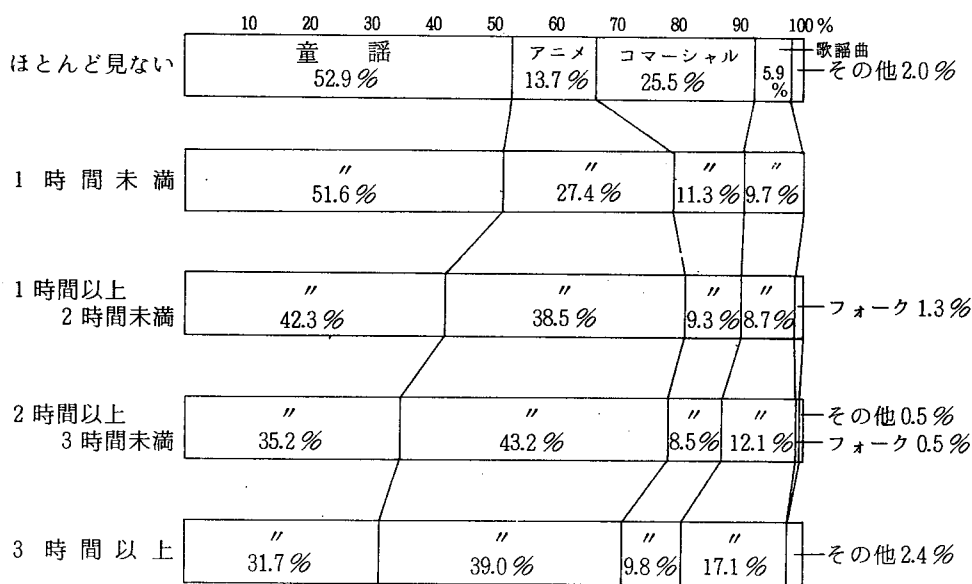


図 19. 好きな歌と遊びの関係 (TV視聴時間)

まとめ

以上の結果

- 1 0才～6才までの子供のTV視聴時間は1時間～2時間が最も多く、平均2時間位であることがわかった。
- 2 音楽のきれいな子がほとんどいなく、きれいな子は20名中1人の割合であり、音楽教育に携わる我々にとって喜ばしいことである。
- 3 おけいごとではピアノ、音楽教室が大半を占めてい、子供の芽をつまない慎重な教育が必要であろう。
- 4 TV視聴時間の短い子供ほど童謡を好み、視聴時間の長い子はアニメの主題歌、歌謡曲を好んでいる。やはり子供にとってはテレビ文化の影響が大である。
- 5 表1～9のすべてにおいて、出生順位別では差がなく、これはやはり、兄弟は同じ家庭環境で育っているためであろう。